交流ステージ＆ワークステーション

「櫓山荘子ども俳句大会作品展」
11月16日(金)～12月27日(木)

第三回櫓山荘子ども俳句大会の特別賞、入選作の四十五点などを、色紙、短冊にして展示しました。「朝顔のつるをのぼって雲の上」（杉田愛瑞美さん　吉木小六年）、「炎昼で途方に暮れる金閣寺」（杉野亨洸さん　引野中三年）など、子どもたちの詩情豊かな作品が文学館を彩りました。

「北九州市立文学館開館一周年祝賀　北九州川柳大会作品展」
1月4日(金)～1月31日(木)

平成19年12月16日、北九州川柳作家連盟主催による「北九州市立文学館開館一周年祝賀　北九州川柳大会」が行われ、その作品展が文学館で開催されました。「祝」「文」「学」「館」「一」「周」「年」を課題に投句された作品から秀句、佳句二十八点を展示。「笑わせて泣かせている祝辞」（下田三休さん）、「文豪の升目鍖骨のペンの跡」（大場可公さん）など来館者の関心を集めていました。

子ども文化ふれあいフェスタ「落語っこ　落語であそぼう」
9月29日(土)

山椒家小粒さんら「噺の会じゅげむ　小倉出張所」の皆さんをお招きして、小・中学生を対象とした落語の体験講座を開催しました。

始まりは、落語の実演から。演目は「ぶしょう猫」。初めて聞く生の落語に、会場には早くも笑いの輪が広がります。その後、手拭いや扇子といった小道具の使い方を練習。最後には、子どもたちが、自分で考えた芸名で高座に上がり、覚えたばかりの小噺（こばなし）を披露しました。

秋晴れに恵まれた土曜日の昼下がり。文学館は、小さな落語家たちの笑い声であふれました。お時間～！

参加者＝約二〇人

山椒家
小粒さん(右)

作曲家加藤さとるさんらによる演奏会
「音楽でつづる北九州文学散歩」
平成19年12月23日

九州電力北九州支店主催
「みんなの作文・エッセイコンクール」
表彰式　平成19年12月2日

生きがい福岡21・北九州主催
「自分史による生きがいさがし公開講座」
平成19年10月20日

北九州市及び北九州近郊を活動の拠点とし、文芸活動を行う団体を対象に、交流ステージ・ワークステーションの貸し出しをしています。

どちらも貸し出し料は無料です。詳しくは文学館事務室まで（093-571-1505）お問い合わせ下さい。

児童文学を読む会（月1回）
平成19年2月9日

詩のボクシング福岡大会実行委員会主催
「詩のボクシング　福岡大会予選」
平成19年10月28日